

くりかえします！！ 注意を要する 「危険な場所」を自分流の地図にする

『安全マップ』

を考えておこう

はじめに、日能研 経堂校で気にかかる

注意点

- * 自転車にのって来るお友達が多いところから、「自転車は法律上『車両』であり、交通方法がきめられている」という事を頭に入れておくことが大切。その上で次の注意を！！
 - ▲ 並んで走らない
 - ▲ 歩道を走るときは、歩行者が優先する
 - ▲ 左右をよく見てから、横断歩道に入る
 - ▲ 塾から帰るときも、左右の安全を確認しながらスタートさせる
 - ▲ 夜間は点灯する

その他の注意点

- * 塾から帰るとき、大声での話し声
(特に夜間、静かな住宅地なので)
- * 塾の近くには、公園、遊歩道があり植木などで「見えにくい」ことに注意
- * 赤堤地区は、人通りが少なく、見通しをさえぎる大きな家なみ、曲がった道が多い
- * 宮坂地区には、マンションなどの駐車場や手入れのゆきとどいていない遊歩道、児童公園などが多く見られる
- * 経堂駅を囲む人通りの多い各商店街

安全マップ作成上の着眼点の基本

危険な場所 とは、

『入りやすく、しかも、見えにくい場所』 と考えよう

例えば

公園、公衆便所、トンネル、空き地、駐車（輪）場、高い建物の屋上、階段、踊り場、非常口など

そして、「人通りの多い」商店街など他人の行動を気につけない場所や空きカン、ゴミなどがちらかってる所なども、その地区の人達の協力が少ないと思われるところから、「見えにくい場所」となる

自転車
も「車両」でーす

